



Vol.223

平成28年11月15日発行

土浦市議会だより

T S U C H I U R A C I T Y C O U N C I L

土浦駅西口広場が生まれ変わります。

平成30年3月
完成予定



昭和46年当時の土浦駅



平成元年当時の土浦駅



【※イメージ図は現時点での案であり、実際とは異なります。】

バスターミナルとタクシー・一般車両を区別し、銀行前の交差点を改良することにより、利用者の安全性の向上と交通の円滑化を図ります。

議案等議決結果

平成28年第1回土浦市議会臨時会

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
	会期の件	28. 8. 9	28. 8. 9	原案可決
報告第28号	専決処分の報告について(和解について)	28. 8. 9	28. 8. 9	報告
報告第29号	専決処分の報告について(和解について)	28. 8. 9	28. 8. 9	報告
報告第30号	専決処分の報告について(和解について)	28. 8. 9	28. 8. 9	報告
議案第72号	(仮称) 新治地区小中一貫教育学校校舎増築建築主体工事請負契約の締結について	28. 8. 9	28. 8. 9	原案可決
議案第73号	(仮称) 新治地区小中一貫教育学校校舎増築電気設備工事請負契約の締結について	28. 8. 9	28. 8. 9	原案可決
	土浦市議会議会運営委員会委員の選任	28. 8. 9	28. 8. 9	選任

市議会の会議には、定期的に開かれる「定例会」(原則として3月、6月、9月及び12月に招集)と、必要に応じて開かれる「臨時会」があります。

8月9日(火)に平成28年第1回土浦市議会臨時会が開催されました。臨時会では、報告3件と議案2件が上程され、原案どおり可決されました。議決結果については、左記の表のとおりです。

第1回土浦市議会臨時会が開催されました。

9月6日(火)に開会した第3回定例会に上程された議案15件、認定2件、請願・陳情2件、委員会提出議案2件の審議が行われました。また、一般質問では11人の議員が質問をしました。さらに、平成27年度の決算関係議案を審査するための決算特別委員会が設置され、8名の委員が閉会中に審議を行うことになりました。(定例会の議決結果等は2頁に掲載)

第3回土浦市議会定例会が開催されました。

目次

- 平成28年第1回臨時会の結果 1
- 平成28年第3回定例会の結果 2
- 一般質問
 - 久松 猛議員・竹内 裕議員・鈴木一彦議員 3
 - 福田一夫議員・海老原一郎議員・荒井 武議員・勝田達也議員 4
 - 下村壽郎議員・井上圭一議員・松本茂男議員・吉田千鶴子議員 5
- 常任委員会等行政視察 6、7
- 《特集》このように使いました
平成27年度 政務活動費収支報告 6、7
- 《連載企画》議員のYO・KO・GA・O
(吉田博史、寺内 充、川原場明朗) 8
- 12月定例会(第4回)の日程 8
- 編集後記 8

<インターネットで市議会の模様が見られます>

土浦市のホームページから「土浦市議会事務局」→「本会議録画配信」を選択してください。

<議会の会議録は次の施設で閲覧できます>

- 土浦市立図書館
 - 各中学校区の地区公民館
 - 支所・出張所(南・上大津・都和・神立・新治)
- ※最新となる会議録(H28第3回)は、11月下旬に閲覧可能です。

市議会では、市民の皆様の要望や意見を「請願」「陳情」として常時受け付けておりますが、定例会で取り扱うものは、定例会招集日の4日前までに提出されたものに限ります。それ以降に提出されたものについては、次回の定例会で取り扱います。詳しくは、議会事務局ホームページから「請願・陳情」をご覧ください。

条例に関する議案等
15件を原案可決

平成28年第3回定例会は、9月6日から21日までの16日間の会期で開かれました。
土浦市医療福祉費支給に関する条例の一部改正や平成28年度一般会計補正予算など15の議案（人事案件を含む）が市長から提出されました。

また、意見書提出についての議案が、総務委員会及び文教厚生委員会から提出されました。
慎重審議の結果、全議案が原案どおり可決されました。
その他、市民から提出された請願陳情の採否についても審議しました。
（可否及び詳細については下記のとおりです。）

《議案について》

議案には、市長が提出するものと委員会又は議員が提出するものがあります。

＜第3回＞
定例会で
決まったこと

一般質問には11人が登壇

12日～14日の3日間に一般質問が行われ、11人の議員が市執行部に對し、市政一般について質問しました。
一般質問の内容については、5頁から。

討論

討論とは
議案に對して賛成か反対の自己の意見を述べます。今回の定例会では2名の議員から討論がありました。

【久松 猛議員】
○受理番号10
土浦・荒川沖駅前及び市庁舎近辺区域を路上喫煙禁止区域への陳情書の委員長報告（不採択）に對して（反対）
【荒井 武議員】
○受理番号8
「所得税法第56条」の見直しを求める陳情の委員長報告（採択）に對して（反対）
○委員会提出議案第4号
所得税法第56条の見直しを求める意見書について（反対）

＜意見書について＞
意見書とは、地方公共団体の公益に関して、議会の意思をまとめ、地方自治法第99条に基づき、国会又は関係行政庁に提出するものです。

土浦市教育委員会
教育長及び委員の
任命について同意
しました

○土浦市教育委員会
教育長
井坂 隆氏
委員
松延 芳子氏

決算特別委員会

最終日の21日に、決算関係の議案が上程され、決算特別委員会が設置されました。

委員長 鈴木 一彦
副委員長 平石 勝司
委員 勝田 達也
委員 井上 圭一
委員 島岡 宏明
委員 下村 壽郎
委員 川原 場朗
委員 竹内 裕

議案等議決結果

議案番号等	件 名	上程年月日	議決年月日	結果
	会期の件	28. 9. 6	28. 9. 6	原案可決
受理番号8	「所得税法56条」の見直しを求める請願書	28. 6. 7	28. 9. 21	採 択
受理番号9	教育予算の拡充を求める陳情書	28. 9. 6	28. 9. 21	採 択
受理番号10	土浦・荒川沖駅前及び市庁舎近辺区域を路上喫煙禁止区域への陳情書	28. 9. 6	28. 9. 21	不採択
報告第31号	専決処分の承認について（平成28年度土浦市一般会計補正予算（第3回））	28. 9. 6	28. 9. 6	承 認
報告第32号	専決処分の承認について（和解について）	28. 9. 6	28. 9. 6	承 認
報告第33号	土浦市土地開発公社の平成27年度経営状況について	28. 9. 6	28. 9. 6	報 告
報告第34号	一般財団法人土浦市産業文化事業団の平成27年度経営状況について	28. 9. 6	28. 9. 6	報 告
報告第35号	一般財団法人土浦市農業公社の平成27年度経営状況について	28. 9. 6	28. 9. 6	報 告
報告第36号	株式会社ラクスマリーナの平成27年度経営状況について	28. 9. 6	28. 9. 6	報 告
議案第74号	土浦市特別職の職にある者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	28. 9. 6	28. 9. 21	原案可決
議案第75号	土浦市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について	28. 9. 6	28. 9. 21	原案可決
議案第76号	土浦市建築基準条例の一部改正について	28. 9. 6	28. 9. 21	原案可決
議案第77号	平成28年度土浦市一般会計補正予算（第4回）	28. 9. 6	28. 9. 21	原案可決
議案第78号	平成28年度土浦市介護保険特別会計補正予算（第1回）	28. 9. 6	28. 9. 21	原案可決
議案第79号	土浦駅西口広場改修工事（その3）請負契約の締結について	28. 9. 6	28. 9. 21	原案可決
議案第80号	新治地区防災行政無線更新整備工事請負契約の締結について	28. 9. 6	28. 9. 21	原案可決
議案第81号	財産の取得について（常備消防用CD－I型消防ポンプ自動車購入）	28. 9. 6	28. 9. 21	原案可決

議案番号等	件 名	上程年月日	議決年月日	結果
議案第82号	財産の取得について（新図書館自動化書庫等購入）	28. 9. 6	28. 9. 21	原案可決
議案第83号	市道の路線の認定について	28. 9. 6	28. 9. 21	原案可決
議案第84号	市道の路線の変更について	28. 9. 6	28. 9. 21	原案可決
議案第85号	市道の路線の廃止について	28. 9. 6	28. 9. 21	原案可決
議案第86号	訴えの提起について	28. 9. 6	28. 9. 21	原案可決
議案第87号	土浦市教育委員会教育長の任命の同意について	28. 9. 21	28. 9. 21	原案同意
議案第88号	土浦市教育委員会委員の任命の同意について	28. 9. 21	28. 9. 21	原案同意
認定第1号	平成27年度土浦市歳入歳出決算の認定について	28. 9. 21	28. 9. 21	継続審査
認定第2号	平成27年度土浦市水道事業会計決算の認定について	28. 9. 21	28. 9. 21	継続審査
報告第37号	平成27年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	28. 9. 21	28. 9. 21	報 告
報告第38号	平成27年度決算に基づく資金不足比率の報告について	28. 9. 21	28. 9. 21	報 告
報告第39号	平成26年度決算に基づく健全化判断比率の修正について	28. 9. 21	28. 9. 21	報 告
	土浦市議会決算特別委員会の設置について	28. 9. 21	28. 9. 21	原案可決
	土浦市議会決算特別委員会委員の選任について	28. 9. 21	28. 9. 21	選 任
委員会提出 議案第4号	「所得税法第56条」の見直しを求める意見書について	28. 9. 21	28. 9. 21	原案可決
委員会提出 議案第5号	教育予算の拡充を求める意見書について	28. 9. 21	28. 9. 21	原案可決
	閉会中の事務調査について	28. 9. 21	28. 9. 21	原案可決

※色付き部分は賛否が分かれた案件

各議員の議案等に対する賛否の状況

議員名 議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	22	23	24	25	26	27	28				
	平石 勝司	吉田千鶴子	荒井武	福田一夫	井上圭一	久松猛	勝田達也	塚原圭二	島岡宏明	今野貴子	下村壽郎	鈴木一彦	小坂博	篠塚昌毅	柴原伊一郎	海老原一郎	柳澤明	矢口清	吉田博史	寺内充	川原場明朗	竹内裕	内田卓男	矢口迪夫	折本明	沼田義雄	松本茂男	賛成	反対	採決結果	
受理番号8 「所得税法56条」の 見直しを求める請願 書の委員長報告(採択) に対して	×	×	×	×	○		×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	—	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	15	11	可決
受理番号10 土浦・荒川沖駅前及 び市庁舎近辺区域を 路上喫煙禁止区域へ の陳情書の委員長報 告(不採択) に対して	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	22	4	可決
委員会提出議案第4号 所得税法第56条の見 直しを求める意見書 の提出について	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	—	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	15	11	可決

賛成…○ 反対…×

※賛否が分かれた案件のみを掲載。

※議長（矢口清）は採決に加わらない。

採
択
2
件

不
採
択
1
件

請願陳情の結果

採
択
2
件

不
採
択
1
件

川沖駅前及び市庁舎近辺区域を路上喫煙禁止区域への陳情

【文教厚生委員長報告（抜粋）】
たばこ税の市への歳入を活用して喫煙ブース等の施設を作ることが先決であり、受動喫煙を否定するならば区域を限定した理由が分からない。区域を指定した上にさらに違反者に過料を科すのは極端すぎる等の不採択とする意見や、過料を科すことについて継続審査として検討したいなどの意見が出され、採決の結果、不採択とすることに決しました。

今定例会では、新規の陳情2件及び継続審査中の請願1件の合計3件について審査を行いました。
不採択となった陳情についての委員長報告は次のとおりです。

一般質問



久松 猛
＜一問一答＞

Q 市立保育所民
営化計画は中止す
べきではないか。

A【市長】

近年の人口減少や少子高齢化等の進行に伴い、税収の減少とともに扶助費の増加などにより、地方自治体を取り巻く環境は厳しさを増しており、限られた財源の有効かつ適切な運用が求められています。

国の聖域なき構造改革により、公立保育所の運営費の市町村負担が増加しましたが、社会福祉法人や学校法人が運営する私立保育園の運営費用及び施設整備費は従来通り国・県の交付金が交付されています。

このような状況の中、本市の公立保育所については、施設の老朽化や経営費の公私間格差など、運営の抜本的見直しが必要であるとの視点から、平成26年度に学識経験者や私立保育所・幼稚園の代表者で構成する「土浦市公立保育所のあり方検討委員会」を設置し、指定管理者制度の導入、公設民営化、私立事業者への移管等、民間活力導入を様々な角度から検討

し、円滑に導入するための保育運営等に関する事業計画の整理を進めることが必要との提言を受けました。

この提言を受け、昨年度に人口減少・少子高齢化社会を見据えた今後10年間の民間活力導入に向けての「公立保育所民間活力導入計画」を策定しました。

この計画は、保育の原則である「子どもの最善の利益」を考慮した上で、限られた財源・人材等を有効活用することが、本市の子育て施策を充実させるためには不可欠であり、民間活力導入を進めていくことが有効であるとの結論から策定したものであり、計画の実施について、ご理解いただき



竹内 裕
＜一括質問＞

Q 市立幼稚園廃
園計画について
伺います。

A【教育部長】

教育委員会で策定した「市立幼稚園の再編計画」は、幼稚園教育全体を私立幼稚園や認定こども園に託すことで、幼児の健全な成長のため子供たちが切磋琢磨できる環境の確保など、就学前教育

一般質問とは

市政一般について市長などの執行部の考え、方針を質問することです。議会だよりでは紙面の都合上、質問を一つ取り上げて要旨を掲載しています。今定例会では、1名の議員が、「一問一答方式」で実施しました。その質問についても1回目の質問時の答弁を掲載します。

たい。

【その他の質問事項】

・旧協同病院への診療所開設計画、旧病棟解体計画、跡地利用計画、老人施設開設計画及び通院マイクロスバス運行再開要請等について病院側と協議を。



鈴木 彦
＜一括質問＞

Q ポケモンGO
「ポケストップ」
集中地区の現状
認識と安全対策
について伺います。

A【市民生活部長】

スマートフォン用ゲームアプリ「ポケモンGO」は、位置情報やカメラ機能を活用としたゲームで、ポケモンを探するために「ポケストップ」と呼ばれるゲームの中で使用する道具が入手できる場所に立ち寄りながらスマートフォンを

持つて街を歩き回ることが大きな特徴です。

本市では「川口運動公園」や「亀城公園」「水郷公園」などの公共施設をはじめ、多くの地区で数多くの「ポケストップ」が設定されています。

市内での報告事例はありませんが、「ポケストップ」周辺地区ではゲームに集中しすぎるあまりゲームプレイ中のわき見運転による交通事故の発生や立入禁止区域への侵入トラブルなどが相次いだことから、最近では、ゲーム運営側に「ポケストップの削除」や「ポケモンが現れないような設定変更」を申し入れる動きもあるようです。「ポケモンGO」に起因する事件や事故に対する安全対策として、本市で

す。

私立幼稚園協会に対し、支援を要する園児について、詳細調査への協力依頼や今後の連携など意見交換をしています。今後、慎重に計画を進め、安全対策を講じてまいります。

現在、市教育委員会は、6月議会における審議内容を踏まえ、適正配置の実施に向け、土浦地区私立幼稚園協会と話し合いを進めております。また、市のホームページや広報紙（8月中旬号）では、市民の皆様等に対し再編計画についての周知に努めているところで

置及び管理に関する条例の一部改正について文教厚生委員会での審査で、土浦幼稚園並びに新治幼稚園の2園の廃止等については、今後、慎重に計画を進め、安全対策を講じてまいります。

さらに、市立幼稚園と私立幼稚園の先生方に、各々の園を公開して視察研修を実施し相互理解を深めてまいります。本年6月議会でも可決となった土浦市立学校の設

【その他の質問事項】

・土浦市行財政改革大綱の考え方と進めていく上での問題について
・放射性物質指定廃棄物の保管状況と今後の対応について

は、国内でのアプリ配信前から、国や県の情報提供をもとに「ながらスマホ」の危険性について、ホームページや広報紙、学校を通じて注意喚起を行うとともに、犯罪やトラブルなどに気をつけてゲームを楽しんでもらうような周知を図ってきました。

今後、同様のサービスが新たに登場することも考えられますが、市民の安心・安全のため積極的な情報収集と調査研究を進め、土浦警察署とも十分に協議を行い情報を共有しながら安全対策を講じてまいりますので、ご理解いただきたいと思います。

【その他の質問事項】

「いばらき教育プラン」策定後の本市の基本的な考え方について。



議会をのぞいてみませんか
土浦市議会では、様々な方法で市民の皆さまに議会情報を発信しています。

- ①議会・委員会の傍聴
- ②市議会ホームページ
- ③インターネット録画配信
- ④会議録の閲覧
- ⑤市議会だよりの発行

【委員会提出議案第4号・第5号】

●委員会提出議案第4号 「所得税法第56条」の見直しを求める意見書について
●委員会提出議案第5号 教育予算の拡充を求める意見書について

4・5号は、請願及び陳情事項について、市議会から意見書を関係省庁等に提出してほしいとの請願及び陳情を受け、所管委員会が審議し、採択となったことから本会議に上程。本会議においても可決されたため、意見書を送付したものです。

【一括質問一括答弁方式と一問一答方式の違い】

	一括質問一括答弁	一問一答
持ち時間	90分	60分
質問回数	3回	無制限
方式	①質問事項をまとめて質問する。 ↓ ②市長（執行部）が質問された事項をまとめて答弁 ↓ ③答弁に対し、改めて聞き取る。 ↓ ④再質問されたことについて市長（執行部）が答弁	質問事項を問う度、質問と答弁を交互に行う。質問の回数や時間制限がある。

①議会・委員会の傍聴
【議員の生の声が聞けます】

受付時に氏名等を記入するだけで傍聴することができます。議員の熱い思いを感じることができます。

②市議会ホームページ
【市議会の情報が満載です】

議会についての情報を幅広く掲載しています。

③インターネット録画配信
【あの議員の質問内容や答弁を聞きたい時に】

②から「本会議録画配信」を選択すると、議員名等から検索でき視聴することができます。

④会議録の閲覧
【議会で話し合われた内容の確認】

市立図書館や支所・出張所をはじめ、各中学校区の公民館で閲覧することができます。

⑤市議会だよりの発行
【議会の出来事を掲載しています】

各定例会が閉会した約2ヶ月後に発行されます。



福田 一 夫
＜一括質問＞

Q 水道事業について水道料金等徴収業務共同発注について伺います。

A【建設部長】
本市の水道料金等徴収業務共同発注については、平成25年度に土浦市・かすみがうら市・稲敷市・阿見町・美浦村の5市町村の上下水道課長



海老原 一 郎
＜一括質問＞

Q 土浦市の放置竹林について放置竹林の対策について伺います。

と認識しております。茨城県では、都市化の進展などにより、平地林・里山林の減少・荒廃が進行し、森林の水源涵養機能といった公益的機能の低下が懸念されていることから、荒廃した森林の整備・保全を行うことを目的に、平成20年度に森林湖沼環境税を活用した「身近なみどり整備推進事業」を創設しました。

A【産業部長】

本市の竹林の面積は、平成23年度茨城県作成の霞ヶ浦地域森林計画書によると、72ヘクタールとなっており、放置竹林の正確な状況は把握しておりませんが、平成23年の東日本大震災に伴う福島原発事故に起因する、放射性物質の影響などもあり、本年7月13日出荷自粛は解除されましたが、タケノコの出荷が制限されておりましたことなどから、放置竹林の面積は、さらに増加しているもの

及び担当者による勉強会を立ち上げ、計5回にわたって検討したところで

この結果、美浦村及び稲敷市は、委託する業務量が少なく、メリットも少ないとの理由で共同委託への参加には至りませんでした。かすみがうら市・阿見町においては、受託者が両市町の業務を1つの営業所で行うことを承認するという項目を盛り込んで、共同発注をすることになりました。

本市の場合、平均調定件数がかすみがうら市・阿見町の合計件数の2倍近い件数があるこ

とから慎重に検討をしたところ、メリットとしては、受託者が1つの営業所で業務を行うことにより人員の削減など経費の圧縮に伴う委託料の低減が挙げられますが、同時にサービスの低下を招くのではないかとというデメリットも考えられ、今回の共同発注への参加を見送りました。

現在、経費削減について委託業者との協議を重ねているところですが、引き続き、今後の入札・契約については他市町村との共同発注も含め、よりよい方法を検討してまいりますので、ご理解願いたい。



【その他の質問事項】

- ・水道事業について
- ・水道事業の今後の方向は。
- ・阿見・住吉地区の阿見町移管について。
- ・契約水量について。
- ・市庁舎移転1年を経た成果と課題について。

本市では、この「身近なみどり整備推進事業」を活用して、放置竹林対策に取り組んでいるところであり、今後も事業の周知に努めながら、放置

【その他の質問事項】
・放置竹林の状況について



荒井 武
＜一括質問＞

Q B型肝炎ワクチン定期接種除外児について伺います。

A【保健福祉部長】
B型肝炎ワクチン予防接種は、平成28年6月の予防接種法施行令の一部を改正する政令により、平成28年10月1日から定期接種として実施することとなりました。



定期接種の内容は、平成28年4月1日以降に生まれた方を対象者に、1歳になるまでに計3回の接種をするもので、全

用対効果等、総合的に検討された結果とのことです。標準的な接種スケジュールは、一般的なワクチンデビューである生後2か月から生後9か月に至るまでに3回接種することとなります。

平成28年10月から接種開始となることから、本年4月1日以降に生まれた乳児については、接種スケジュールがきびしいため、3回接種を確保できるよう救済措置を講ずる予定です。

議員からご質問のあった1歳児から3歳児までの定期接種除外児は約3千400人です。0歳であれば、ほぼ

100%の乳児にB型肝炎の十分な抗体がつけられますが、10代であっても90%以上の方に十分な抗体がつけられます。

B型肝炎ワクチンは何歳までも受けることが可能なワクチンであるので3歳児までを対象とする根拠は難しく、1歳以上の幼児・児童については、従来通り、任意接種での対応とし、併せて、1歳以上の幼児・児童へのB型肝炎ワクチンの接種の必要性については、健康診査や育児相談などの機会をとらえて、啓発をしてまいりたいと思っておりますので、ご理解願いたい。

【その他の質問事項】
・障害者差別解消法



勝田 達也
＜一括質問＞

Q 雨水排水路の整備状況と増水の危険箇所及び安全対策について伺います。

下水道の整備を進めてきました。しかし、中貫都市下水路及び神立都市下水路や、河川改修が未整備の乙戸川周辺地区並びに水路が未改修である神立駅周辺や木田余地区等も住宅浸水や道路の冠水被害が発生しています。

所等へ注意喚起を促す道路冠水予告の看板や、冠水時でも水路と道路の位置が判別できる反射板の付いた視線誘導標を設置するなどの対策を考えております。

【その他の質問事項】
・地域おこし協力隊の導入の可能性について。
・つくば霞ヶ浦りんりんロードの土浦市部分の整備状況と今後の見通しについて。

A【建設部長】

本市における雨水排水対策ですが、公共下水道（雨水）事業と都市下水路事業の2事業による整備を行っております。公共下水道（雨水）事業では、土浦駅周辺地区に8箇所の雨水ポンプ場及び雨水管渠を整備し、都市下水路事業では、これまでに47路線の都市

道路等の冠水時における対応としては、台風の接近や豪雨などの気象情報に基づき、事前パトロールにより水路の支障物の撤去・清掃等の対策を行い、豪雨時についても冠水箇所の通行止め等、早期の交通規制を行うとともに家屋浸水等の恐れのある箇所については、土のう積みなどを行っております。

水路が溢れた時の安全対策としては、危険箇





下 村 壽 郎
＜一括質問＞

Q 局地的豪雨などに対応する気象観測・予測・情報配信システムの導入について伺います。

A【総務部長】
近年、地球温暖化が原因とされる異常気象により、集中豪雨など予測困難な自然災害が多発しております。

本市においても、本年8月の台風では、住家損傷や倒木の被害のほか、農作物にも大きな被害を受けました。

現在、本市では、悪天候時の災害予測は、降水分布を30分先まで予測できる気象庁の情報や、県土木事務所や霞ヶ浦河川事務所からの河川情報、県防災情報ネットワーク

からの県内の災害情報などから得られるデータを参考に、市域に災害の恐れがある場合には、防災行政無線やホームページ、防災情報メールやエリアメール等を用いて市民の皆様等に情報発信をしているところです。

議員から紹介があった気象観測システム「ポテカ」は、市内に機器を複数設置することで、設置地点の気温や気圧・雨量などの情報をパソコンやスマートフォンでリアルタイムは見ることができ、現時点では、できないということです。



今後訪れる災害に向き合い減災を図っていくためには、多様化・複雑化している気象情報を出来るだけ正確に分析・予測し、いち早く市民の皆様

に発信、提供するということが一番重要であると考えております。

引き続き、気象庁など国や県からの情報収集に努めるほか、新たな予測システムなども研究されていることから、「ポテカ」も含め新時代の観測機器・システムの研究などにも取り組んでまいりますので、ご理解願いたい。

【その他の質問事項】
・水郷体育館空調設備設置について。



井 上 圭 一
＜一括質問＞

Q 土浦市「コミュニティ交通の展望について伺います。

A【都市整備部長】
本市のコミュニティ交通は、平成22年に策定し

た地域公共交通総合連携計画の中で、公共交通不便地域の解消を目的と位置づけ、平成23年10月から平成26年3月まで新治地区で試験運行を実施しました。

この試験運行結果を踏まえ、平成26年度に「コミュニティ交通導入の手引き」を作成し、導入のための相談窓口を都市計画課に設けております。

手引きにおいては、コミュニティ交通導入の条件を、①導入を希望する地域が公共交通不便地域であること、②運行する地区において運営委員会を組織すること、③運行経費等の3割以上を運賃収入及び地元の負担で確保することとしており、

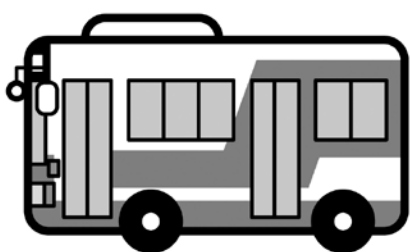
市は運営委員会に助言を行い協力しながら円滑な進行を図ってまいります。

また、本市が補助・助成を行っている公共交通には、中心市街地活性化を目的とした「キララちゃんバス」、高齢者の移送を目的とした「のりあいタクシー土浦」、土浦駅～玉造駅間を運行する「霞ヶ浦広域バス」があります。

これらの公共交通の運行経費に占める運賃収入等の割合は、いずれも3割を超えており、一定割合の受益者負担がなされていることから、コミュニティ交通についても、試験運行を含めて、運行経費等の3割を運賃収入及び地元負担金で確保していたかどうかです。しかしながら、地元負担金については、コミュニティ交通を導入するうえで地域の方も非常に不安なことと存じます。

で、市といたしましても導入前の需要調査結果を注視しながら適切な助言を行ってまいりますので、ご理解願いたい。

【その他の質問事項】
・つくば市の公共交通の実態



松 本 茂 男
＜一括質問＞

Q 災害時の避難場所について伺います。

A【市長】
本市における災害時の避難所は、災害対策基本法に基づき、住民等を災害の危険性がなくなるまで一時的に滞在させることを目的として、防災倉庫などの備えがある市内28の小中学校を「指定避難所」として、また、危険が切迫した状況において、住民等が緊急に避難する際の避難先として、公民館や公園などを「指定緊急避難場所」として位置付けております。

議員から提案のあった身近な場所にある耐震基準を満たした民間施設を一時的に避難所と利用することは、巨大地震等の際には、落下物や窓ガラスの飛散、室内の什器の転倒、エレベータの故障等による2次災害に被災するということも考えられること、また、避難場所が分散することにより安否確認や食料供給等の支援が困難になること、さらには事態が悪化した場合に救出救助に支障を来す等の理由から、緊急避難場所としては好ましくないと考えます。

発災時に切迫して身の危険を感じた時は、まずは、屋外の空き地などに一時退避し、安全の確認ができた後に、食料や飲料水の備えがあり、生活環境が整備されている指定避難所へ移動していただくことが、現時点では、一番安全で有効な避難のあり方であると考え

ておりますので、ご理解願いたい。

【その他の質問事項】
・女性活躍推進法について
・第85回土浦全国花火競技大会について
・市道I級17号線について



吉 田 千 鶴 子
＜一括質問＞

Q 食品ロス削減に向けての取り組み仮称「もったいないみんなで減らそう食品ロス」について伺います。

A【市民生活部長】
日本では、まだ食べられるのに捨てられている食べ物いわゆる「食品ロス」が年間632万トンにも上り、食品ロスを減らすことは、今後真剣に取り組んでいかなければならない重要な課題となっております。

現在、市の具体的な取り組みとしては、食品ロス削減のパンフレットを各種イベントにおいて配布したり、小学校や町内会等への出前講座、料理教室、生ごみ処理施設の見学会の実施や広報紙、ホームページへの記事掲載等を行っています。

今後、市民を始め事業者の方々への啓発に努めるとともに、事業展開を図っていききたいので、ご理解願いたい。

A【教育部長】
教育施設における食品ロス削減のための取り組みとしては、学校給食で食材を提供していただく生産者との触れ合い等を通して食に関する理解や感謝の気持ち育て、食の大切さについて、一層理解を深める食育の推進を図り、学校給食における食品ロスの削減に継続して努めてまいります。

で、ご理解願いたい。

A【総務部長】
本市の災害用の備蓄食品は、東日本大震災における最大避難者数を基本に、帰宅困難者も想定し、合計約2千800人が1日3食を食し、3日間を過ごせる量を確保すべく

年次計画で備蓄を進めております。

消費期限が少なくなつた備蓄食品は、総合防災訓練や防災講演会等の際に市民に提供し、防災意識の啓発を図る等、食品の廃棄は出ておりませんが、今後、余剰が出た際などには、フードバンクへの提供も検討し無駄のない災害備蓄体制を構築

してまいりますので、ご理解願いたい。

【その他の質問事項】
・「花」まちづくりで土浦市の「おもてなし」・「魅力度アップ」について。

市議会のしくみ

市議会は市民参加の開かれたまちづくりのため、市民一人ひとりの声を市政に反映させる役割を担っています。

市議会議員と市長は、4年に一度、市民の皆さまの選挙によって選ばれ、市民の代表として市政の運営を任されています。

市長は選挙公約などで打ち出した政策を進めるため、また住み良いまちづくりを進めるために、予算や条例などの案を作り、市議会議員は市民の皆さまの代表として、その案を慎重に審査し、決定しています。

これは市議会の基本的な権限である議決権であり、予算や条例を決定する権限になることから、市長は議会の議決に従って仕事（市政）を進めて行きます。

このようなことから、市議会を「議決機関」、市長を「執行機関」と呼び、互いにけん制し協力し合いながら均衡を保ちつつ、同じ目的である市政の発展のために活動しています。



政務活動費収支報告

※政務活動費については、平成27年5月から平成28年3月までの11か月分（改選のため）

公明党土浦市議団

◎荒井 武、福田一夫、○吉田千鶴子、平石勝司

【収支報告書】		【会派視察一覧】			
収入	1,100,000 円	月	日	視察先	視察内容
支出	744,748 円	11	16	宮崎県 宮崎市	次世代に重荷を背負わせな い公共施設経営について
調査研究費	341,460 円		17	宮崎県 都城市	六次産業化推進事業につい て
資料購入費	351,162 円		18	鹿児島県 鹿児島市	ジオパークの取り組みにつ いて
事務所費	52,126 円	2	17	静岡県 伊東市	いとう創造大賞について
			18	静岡県 下田市	観光まちづくり推進計画に ついて
残額	355,252 円				

日本共産党土浦市議団

◎久松 猛、○井上圭一

【収支報告書】		【会派視察一覧】			
収入	550,000 円	月	日	視察先	視察内容
支出	481,872 円	7	25	石川県 金沢市	自治体学校in金沢 戦後70年、憲法が輝くホン モノの地方自治を学ぶ
研修費	111,543 円		26		
広報費	171,631 円				
資料購入費	134,563 円				
事務所費	64,135 円		27		
残額	68,128 円				

新 風 会

◎柴原伊一郎、○鈴木一彦

【収支報告書】		【会派視察一覧】			
収入	550,000円	月	日	視察先	視察内容
支出	235,573円	10	26	長崎県雲仙市	ファサード整備事業(雲仙古湯地区街並み整備事業)について
調査研究費	95,620円			長崎県島原市	地域児童見守りシステム事業について
資料購入費	122,340円		28	佐賀県嬉野市	嬉野総合運動公園(みゆき公園)について
事務所費	17,613円				
残額	314,427円				

創 政 会

◎矢口迪夫、松本茂男、沼田義雄、内田卓男、川原場明朗、矢口 清、小坂 博、○島岡宏明

【収支報告書】		【会派視察一覧】			
収入	2,200,000 円	月	日	視察先	視察内容
支出	1,933,437 円	6	23	北海道札幌市	札幌子どもアシストセンターについて
調査研究費	1,440,730 円		24	北海道石狩市	石狩地区地域防災施設について
資料購入費	465,245 円		25	北海道小樽市	小樽観光大学校及び案内人制度について
事務所費	27,462 円	11	16	宮崎県宮崎市	次世代に重荷を背負わせない公共施設経営について
			17	宮崎県都城市	六次産業化推進事業について
			18	鹿児島県鹿児島市	ジオパークの取り組みについて
		8	21	岐阜県岐阜市	子ども・若者総合支援センターについて
			22	岐阜県各務原市	各務原ブランド推進事業について
残額	266,563 円				

市民ネット21

◎○柏村忠志
(H27年11月1日退職のため10月までの6か月分)

【収支報告書】	
収入	150,000 円
支出	153,875 円
広報費	129,600 円
資料購入費	24,275 円
△自己負担額	3,875 円
残額	0 円

政務活動費
あれこれ

◆政務活動費とは…
議員の調査研究やその他の活動に必要な経費の一部として交付されるものです。

◆交付額はいくら？
議員一人あたり月額2万5千円、年額で30万円です。会派の場合、この金額に議員数を乗じた額が交付されます。

土浦市議会政務活動費の交付に関する条例では、所属議員が一人でも会派として認めています。

◆議員が年度途中に会派を抜けた場合や新たに結成した場合の扱い？
議員が会派を脱退した場合、脱退した日の翌月分から3月分までを返還します。

平成27年度は市民ネット21の議員が11月1日に退職したため、11月から3月までの5か月分12万5千円を返還しています。

なお、新たに結成した場合、結成した翌月から3月分までの額が交付されます。

行政視察（～11月まで）

土浦市を元気にするために
他市の事例を学んできました！

○都市建設委員会【5月18日（水）～20日（金）】

視察先	視 察 内 容
沖縄県糸満市	武富地区土地区画整理事業について
沖縄県名護市	中心市街地商業基盤整備事業について
沖縄県沖縄市	中心市街地活性化基本計画について

○総務委員会【7月26日（火）～28日（木）】

視察先	視 察 内 容
山形県酒田市	防災対策について
秋田県秋田市	投票率向上への取り組みについて
秋田県横手市	災害に強い地域づくりについて

※ 行政視察は、地方自治法第100条第13項及び市議会会議規則第160条に基づき実施しています。
各常任委員会の視察報告書についても、市役所の情報公開室で所定の手続きをさせていただきますと閲覧することができます。



◎=会派代表者 ○=経理担当者

このように使いました 平成27年度

市政を考える会

◎○竹内 裕

【収支報告書】

収入	275,000 円
支出	250,262 円
調査研究費	59,750 円
広報費	186,408 円
資料購入費	4,104 円
残額	24,738 円

【会派視察一覧】

月	日	視察先	視察内容
10	10	山口県萩市	松陰先生のことばの朗読など郷土の歴史を活かした教育について
11	11	山口県宇部市	学校教育センター整備事業について
12	12	山口県山陽小野田市	空き家等の適正管理に関する条例の施行状況について

郁 文 会

◎海老原一郎、篠塚昌毅、○下村壽郎、塚原圭二、勝田達也

【収支報告書】

収入	1,375,000 円
支出	1,485,696 円
調査研究費	817,484 円
広報費	351,000 円
資料購入費	317,212 円
△自己負担額	110,696 円
残額	0 円

【会派視察一覧】

月	日	視察先	視察内容
8	17	広島県呉市	議会報告会について
2	16	沖縄県座間味村	座間味村観光事業について
2	17	沖縄県名護市	ちばる地域関連事業、市民意見交換会について

明 政 会

◎寺内 充、折本 明、吉田博史、○柳澤 明、今野貴子

【収支報告書】

収入	1,375,000 円
支出	1,393,801 円
調査研究費	1,132,365 円
資料購入費	190,624 円
事務所費	70,812 円
△自己負担額	18,801 円
残額	0 円

【会派視察一覧】

月	日	視察先	視察内容
7	7	北海道帯広市	産業振興ビジョンについて
10	26	長崎県雲仙市	ファサード整備事業（雲仙古湯地区街並み整備事業）について
2	15	島根県益田市	人口拡大計画～地域の魅力を高め、Uターンを促進する施策～について

◆政務活動費は誰が管理しているの？
経理担当者を会派の中に置き管理しており、次年度の4月末までに収支報告書を議長に提出することとなっています。

◆政務活動費として認められている経費とは？
先進地への視察をはじめとする調査研究や研修、広報、各種会議への参加などの経費が認められています。詳しくは左上の「政務活動費使途基準」を参照してください。
議員は市政の課題や市民の意思を把握し市政に反映させるための活動を日々行っています。

◆政務活動費について、土浦市議会では適正に使われているかチェックする機能はあるの？
本市議会には、議員で構成する4つの委員会（総務・文教厚生・環境経済・都市建設）があり、その中の総務委員会で厳正にチェックしています。

◆収支報告書を見ることはできるの？
情報公開制度を導入していますので、市役所の情報公開室で所定の手続きをしていただきますと閲覧することができます。

平成 28 年度各常任委員会等の

○文教厚生委員会（10月18日（火）～20日（木））

視察先	視 察 内 容
奈良県橿原市	博物館整備運営事業について
大阪府四條畷市	子ども基本条例について
京都府京都市	こどもみらい館について

○都市建設委員会（10月18日（火）～20日（木））

視察先	視 察 内 容
広島県尾道市	(株)せとうちシープレーンズの運営状況について
岡山県倉敷市	中心市街地活性化の取り組みについて
香川県高松市	高松丸亀町商店街再開発事業について

○議会運営委員会（10月31日（月）～11月2日（水））

視察先	視 察 内 容
福島県会津若松市	議会改革の状況、議会基本条例の運営について
新潟県新潟市	議会改革の状況、議会基本条例の運用について
長野県長野市	議会改革・活性化の状況、議会基本条例の運用について

他市で学んだ良い事例は
本市でも活かしてまいります！

《連載企画》

議員の YO・KO・GA・O

(議員の横顔)

今回は、議員5期目となる議員について紹介します。



吉 田 博 史

【自己紹介】

昭和32年生まれ。土浦生まれで土浦育ちの現在59歳です。平成11年の選挙にて41歳で初当選以来18年の議員活動を行っています。

『異体同心』を政治信条に活動し、保守系の議員であります。周辺からは革新系の血が流れているとの評価を受けることもあります。

【土浦の良い、好きなところ】

関東平野に位置している土浦は、気候が温暖で災害も少なく首都東京にも近いという住環境には恵まれている自治体だと考えます。

また、面積からの人口密度は、茨城県内でも上位にあり、行政効率の高さは、他市より優れているところといます。

景観においては、土浦駅より眺めると、東にヨットの帆が浮かぶ霞ヶ浦、西にそびえる関東の名峰筑波山と、まさしく『水

とみどりの都』の名に相応しい土浦が素晴らしいと思います。

【議員活動をふり返って】

地方議員は、市民の代表ではなく、市民の代弁者であるとの強い信念で活動してまいりました。

議会や議員には執行権がありませんので、限界を感じることも度々ありましたが、その都度悩み自問自答した日々が脳裏に焼きついております。

議会には執行権はないが、議決権という行政に對し執行を認めるか認めないかの判断をする大きな権利を持っています。

これは直接市民に迷惑や負担がかかるものになってしましますので、議会採決(判断)の重大性を常に最重要と考え活動してまいりました。

日本国内二番目の湖、霞ヶ浦湖岸に位置し、風光明媚で、県南の商工業や観光農業などの中心を担っているところといます。

【5期目の抱負】

少子高齢化と人口減少問題は、今後確実に行政運営に重くのしかかってきます。

市民への当たり前のサービスが提供できなくなる可能性が発生するかも知れません。

『行政は最大のサービス業』のもと、議会と行政は最大の努力を行い、市民生活を支えていく姿勢は変わりませんが、人口減少により行政と議会のスリム化や優先課題を先行投資していくという政策が必要となつてきます。

10年後、20年後の土浦市を見据えた政治を模索するとともに、市民にやさしく・行政に厳しい議員でありたいと考えます。



寺 内 充

【自己紹介】

幼少の頃から中心部の繁栄を見て育ちました。父が長く議員をつとめ、市のために活動していたのを見て、自分も父のように市のために働きたき議員になりました。

しかし、時代の流れで現在、昔の面影もないうちに衰退しています。

もう一度以前のような市内に活性を取り戻したいと思い、議員活動をしています。

【土浦の良い、好きなところ】

我が街土浦市は、気候温暖で災害も少なく、一年を通して住みやすい土地柄だと思っています。

その他にも、土浦が誇れるものは、日本三大花火競技大会や、全国生産一の蓮根等を行政視察先では土浦市の自慢ですと、ピールしています。

その他にも、土浦が誇れるものは、日本三大花火競技大会や、全国生産一の蓮根等を行政視察先では土浦市の自慢ですと、ピールしています。

【議員活動をふり返って】

議員に成り立ての頃は政治のいろはを一から教わり、市民の皆様は、議員だと市の事は何でも分かっていると思っっているらしく、問題解決に苦労いたしました。

昔は良き先輩議員がたくさんいらして、専門職に精通していて、ご指導とご協力をいただきました。一期生だった私も今は、

五期生になり、時の流れを感じています。

【5期目の抱負】

五期、十七年間市民の皆様が目線に立つて、政治活動してまいりました。

新市庁舎も半世紀ぶりに、駅前に移転、周辺整備が行われています。

まずは、道路等の交通アクセス整備を行い、昔のように勢いがあつた商店街を取り戻す為に努力してまいります。



川原場 明 朗

ります。これからも市民の皆様のご期待に応えられる様に議員活動をしていきたいと思っております。

【写真とお名前みの紹介】

市政概要の有償頒布

市議会では土浦市政全般を網羅し、部門別に編纂した「市政概要」を有償にて発行しています。

平成28年度版は12月上旬から頒布、平成27年度分は在庫がわずかとなっています。

議会史「土浦市議会五十年のあゆみ」の有償頒布

土浦市議会では、「土浦市議会五十年のあゆみ」を有償で頒布しています(平成4年発行)。

これは、市制施行50周年の後、土浦市議会として初めて刊行した議会史で、市制施行から50年間にわたる市議会の活動記録が詳細にまとめられております。

国内外の出来事なども年代ごとに掲載されており、当時の時代背景を回想するにも最適な1冊かと思ひます。

また、別冊として写真集がセットとなっており、表紙にある懐かしい写真が約800枚も掲載されています。



〇頒布価格(1セット) 3,000円

〇申込先 土浦市議会事務局

☎(826) 1111 内2277

〇頒布価格(28年度版) 1,614円

〇申込先 土浦市議会事務局

☎(826) 1111 内2277

《議会内人事》

8月9日付けで土浦市議会運営委員会の委員に交代がありました。

委員長 内田 卓男
副委員長 海老原 一郎
(※) 委員 島岡 宏明
(※) 委員 篠塚 昌毅
委員 柳澤 明
委員 福田 一夫
委員 沼田 義雄

※が今回交代した委員です。

議員報酬と経費

〇報酬
議長 57万円
副議長 50万円
議員 46万7千円

〇費用弁償
本会議・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会への出席 1日につき 1,500円

トピックス

Q、議会にはどのような協議の場があるのですか？

A、土浦市議会には、4つの常任委員会(総務・文教厚生・環境経済・都市建設)の他に、議会運営委員会が常設されています。

その他、必要が生じた場合には特別委員会(現在未設置)が議会の議決で設置されます。また、会議規則第159条の5つの協議の場を規定しています。

①全員協議会
②会派代表者会議
③常任委員長会議
④正副議長経験者会議
⑤広報広聴委員会
副議長、各常任委員、議会運営委員会の委員長で構成

〇期末手当支給率
6月期 100分の150
12月期 100分の160
加算率 100分の15

広報広聴委員会

委員長 小坂 博
副委員長 平石 勝司
委員 荒井 武
委員 福田 一夫
委員 竹内 裕
委員 内田 卓男

【編集後記】

吐く息が白くなってきました。間もなく身も凍るような厳しい冬がやってまいります。

でも、私はそんな冬が大好きです。ちょっと太めな(っ)こともあり、汗だくになる夏よりも冬が好きです。空気が澄み渡った冬は、自然と気持ちも凛とします。

そして、新たな年に向けての活力が湧いてきます。

還暦を迎えましたが、気力は充実しています。ますますがんばってまいります。

(委員長 小坂 博)

12月定例会(第4回)日程

日	曜	開議時間	
25	金		招集告示・議会運営委員会
26	土		
27	日		
28	月		一般質問通告受付開始
29	火		一般質問通告締め切り
30	水		
12/1	木		請願・陳情受付締め切り
2	金		
3	土		
4	日		
5	月		
6	火	午前10時	本会議(招集日)
7	水		
8	木		
9	金		休 会
10	土		
11	日		
12	月	午前10時	本会議(一般質問)・議案質疑締め切り
13	火	午前10時	本会議(一般質問)
14	水	午前10時	本会議(一般質問・議案質疑)
15	木		
16	金		
17	土		休 会(常任委員会)
18	日		討論通告締め切り(委員会終了翌日)
19	月		
20	火	午前10時	本会議(最終日)